

パブリックコメントのご意見に対する回答

意見項目	ご意見	回答
77 ページ 事業 4	<p>JR の乗客維持・増加のためには利便性の確保が必要だが串木野駅が無人化されて新幹線のきっぷを買えなくなってしまった。</p> <p>また、川内駅で新幹線の上り始発・下り最終に接続できるダイヤになっていない。JR に対し新幹線きっぷの買える券売機導入とダイヤの改善を要望すべきだ。</p>	<p>鉄道の利便性向上については、JR 九州へ鹿児島県鉄道整備促進協議会を通じて、要望を行っているところです。</p> <p>今後も、ご指摘のありました券売機導入やダイヤの改善等、引き続き要望を続けてまいります。</p>
82 ページ 事業 12	<p>観光利用者は鹿児島のローカル IC カード(Rapica/いわさき IC カード)を持っていない。SUGOCA を導入して観光客の利便を図るべきだ。また、それほどバスを利用しない層は SUGOCA のみ、バスを多く利用する層はローカルカードと併用という住み分けができ、市民にもメリットは非常に大きい。交通事業者(鹿児島交通)に強く要望すべきだ。</p>	<p>市内を走っているバスの事業者である鹿児島交通株式会社では、SUGOCA カードの利用においてはシステム変更などの導入費用が高額(数億円)のため、現在導入に至っておりませんが、今後、交通系 IC カードの利用については、国の補助金活用などを含め、事業者へ検討して下さるよう要望を行います。</p>
74 ページ 事業 1	<p>いきいきバスの路線再編・ルート変更は必須である。特にバス廃止により公共交通が消滅した脳神経外科センターへのバス確保は不可欠である。今後の発展が期待できる麓地区もバス空白地域である。市道別府上名線を活用して木原墓地線を延長し「串木野駅-五反田-麓-脳神経外科センター-海瀬-南洲病院」という新ルートを作って循環ルート化するのが良い。市街地部は「本町-ロータリー前-大原」を「本町-商工会議所前-市民会館前-大原」に改めて串木野庁舎利用者の利便を確保すべきだ。</p> <p>また、羽島・荒川線は運行ルートが複雑すぎるため串木野駅で分割して羽島・荒川方面と別府・照島方面を別系統化すべきだ。実態に合わないバス停名(和田外科前、さのさ荘等)や紛らわしいバス停名(串木野駅/串木野)の改称も必要だ。</p>	<p>麓地区を含む上名・生福・冠岳方面については、現在いきいきタクシーが運行しております。</p> <p>いきいきバスの今後の運行につきましては、運行ルートやバス停の見直しなどを含め、再編等について検討してまいります。</p>

